

大崎市民病院 本院リハビリテーション室	
基本理念	「患者・家族の想いに寄り添い、安全で質の高いリハビリテーションの提供」
基本方針	
Ⅰ．医療人として高い専門性を持ち、全人的成長を目指します	
Ⅱ．健全経営を確保し、地域医療に貢献していきます	
Ⅲ．共に尊重し合い、魅力ある職場作りに励みます	

実施月	4月				
目標	テーマ:「社会人・組織人」 ～自覚/カルテの基本操作～		・社会人として基本的態度を身に付ける。 ・組織の一員としての自覚を持つことが出来る。 ・業務の流れを理解する。 ・電子カルテの基本的操作が出来る。		
教育内容	大項目	中項目	担当	内容	
	基本方針	大崎市民病院 理念	管理		
	部門体制	部門理念・基本方針・連絡網	管理	組織図、役割分担、連絡網:LINE登録(管理職/部門内/感染/災害)	
	就業関係	出退勤管理	管理	打刻入力、修正	
		休暇申請		年休、特休、振休、休みの報告先	
		時間外申請		平日(事前申告:業務進行状況/時間):報告先	
		業務量管理・調整		休日/祝日(出張等) 業務量把握表の運用方法 目標単位数、帰宅時間 新患振り分け準備、方法 グループ制	
	接遇	職員・社会人としてのマナー	指導者	社会人・公務員として 患者対応 職員同士の対応 電話対応 風土を醸成すること	
	業務内容	個人情報について	指導者	バインダー、クリップの目的と使用方法 患者予定表等の個人情報文書の取り扱い、紛失時の対応 カルテ閲覧時の注意事項 スキャン済み文書の取り扱い:計画書/各種検査用紙/チェックリストなど 心電図、リハビリテーション科、病棟配置と仕組み、リハビリ札 1日:就業時間、ミーティング、昼休憩 1週間:各種カンファレンス(リハビリテーション科/心臓血管外科等) 送迎可能時間帯、申し送り内容・方法、助手の役割(チーム)	
		病棟システム		定期)朝:8:20～8:30 リハ助手:リハ室手前半分/リハ事務:カウンター 昼:食事後 スタッフ:燃えるゴミ集め 夕:15:20～16:00 リハビリ助手:リハ室奥半分	
		スケジュール		* 15:20以降、リハ室奥半分の使用は控える/使用した場合清掃する 都度)使用物品の清掃:歩行器などの補助具、血圧計などの医療機器 患者/同職種/他職種への申し送り 代理実施割り振り表作成	
		搬送表システム			
		清掃			
		休みの申し送り			
	感染管理	感染予防	感染管理	標準感染予防策 担当患者の感染症発症時:報告と対応 本人/家族の感染症発症時:報告と対応	
		汚染時の対応		排泄物、血液、吐物の対応 使用物品の消毒方法 ユニフォームの洗濯	
		リネン			
	医療安全	緊急時対応練習 インシデントレポート	医療安全	BLS/KYT/急変時対応/ライトラブル/コードブルー/スタッフコール 担当者へ報告、インシデントレポート作成	
	防災対策	災害時連絡	管理	参集基準/災害時連絡(報告連絡相談・連絡網)	
	診療内容	カルテ	係 + 指導者	基本的なカルテ操作 患者登録/リハビリ予約/リハビリ実施/担当者スケジュール カルテ閲覧/入力/登録 サマリー:初回・最終評価、ショートサマリー(1回/週) 転院経過連絡・連携パス(脳卒中・大腿骨・心不全) カンファレンス:リハ科、心外、その他都度記載 退院時指導料算定:指導対象者、内容記載	
				患者登録	担当者決定後、速やかに電子カルテで登録 追加処方、再処方、担当者変更時は変更登録
		実施算定	医事	算定項目 脳血管、廃用、心大血管、運動器、呼吸器(PO) 摂食(S)、がん(研修終了後) 退院時リハビリテーション指導料 がんリハ総合実施計画書(1回/月)	
				診療報酬	実施計画書 ・入院初回:リハ医作成/担当者サイン取得 ・初回以降(追加・再処方):担当者作成/サイン取得 ・がんリハ総合実施計画書(1回/月):担当者作成/サイン取得 目標設定等支援管理料 ・患者登録時フラグ ・目標設定管理シート作成 退院時リハビリテーション指導料
		リハ事務への報告	指導者	転院、退院、終了日、中止等 担当者変更 退院時リハビリテーション指導料算定者、算定日、送信後	
				リハ科ベッド	リハ科病床の位置付け/概論 リハ科転科までの流れ
メモ:					

5月/6月/7月/8月/9月													
テーマ:「業務遂行」 ～指導期～						・指導/助言を受けながら患者対応をすることが出来る。 ・指導/助言を受けながら評価・治療・目標設定を行うことが出来る。 ・指導/助言を受けながらリハビリ記録を記載することが出来る。 ・報告・連絡・相談をすることが出来る。							
具体目標/行動目標:						助言/key words:							
大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価	大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価		
コミュニケーション		患者さんとコミュニケーションがとれる 他職種(医師・看護師等)とコミュニケーションがとれる 必要な情報を医師等から確認することが出来る 状態変化や転倒、申し送り等の必要な情報を病棟へ提供することが出来る				治療全般	情報収集	必要な情報をカルテから収集することが出来る(体調/指示/検査予定等) 必要な情報をカルテから収集することが出来る(検査結果等) カルテから発症の様子/経過/生活像などを収集しイメージすることが出来る 不足している情報を関係者から迅速に収集することが出来る					
動作介助	判断	動作能力の判断が出来る 転倒等の危険に関する判断・予測・準備が出来る					問診	必要な情報を患者さんから収集することが出来る					
	実技	軽介助の動作介助が出来る 中介助の動作介助が出来る 重介助の動作介助が出来る 簡単なライン管理を行いながら動作介助が出来る 複雑なライン管理を行いながら動作介助が出来る					評価	適切な評価が出来る(CL・Br/s・ROM・BIなど) 問題分析ができる					
		目標設定	明確な目標設定が出来、患者さんと共有することが出来る					実施	質の高い治療を提供することが出来る				
		相談	治療や困っている内容を自ら他者へ相談することが出来る					資質	常に寄り添い、思いやりと熱意があり行動できる				
		リスク管理	知識・実技	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしているなど 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/心疾患など					整形外科疾患	大腿骨転子部骨折	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしているなど 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/心疾患など		
その他骨折				安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 中～ハイリスク骨折のリハ実施 多発骨折+免荷など									
松葉杖指導 部分荷重/免荷指導	安全な松葉杖指導が出来る 適切な松葉杖指導が出来る 動作指導の共通点を基に指導ができる(例:Pick up と松葉杖など)												
脊柱疾患	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施												
確認・判断・実行	離床基準・安静度を照らし合わせながら離床することが出来る 指示間違いの可能性がある場合、それに気づき相談・確認することが出来る 問診から体調の変化に気づき、適切な確認・判断することが出来る リハビリや運動の継続・中止が判断できる リハビリや運動の継続・中止が判断でき、報告することが出来る ステップアップ・ステイ(維持)・ステップダウンの判断が出来る					大腿骨頸部骨折	各脱臼肢位が理解出来る 脱臼肢位の指導が出来る 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/円背など						
	心電図		簡単な心電図が理解出来る 難しい心電図が理解出来る 心電図の装着ができる モニター操作ができる 適切なモニター管理が出来る(配置場所・確認頻度等) モニター上で心電図を読むことが出来る 心電図変化に気づくことが出来る 心電図変化に気づき報告することが出来る 心電図変化に気づくことが出来、適切な対応をすることが出来る					人工関節置換術 (THA)		THAのリハ実施 期限内に上手にステップアップできる(3週)			
			人工関節置換術 (TKA)	TKAのリハ実施 期限内に上手にステップアップできる(3週)									
				手の外/切断	安全にステップアップできる								
脳卒中 硬膜下血腫等				安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしている/軽度麻痺など 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 軽度麻痺/軽介助など 中等度リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 中等度麻痺/中介助など ハイリスク群のリハ室実施 重度麻痺・意識障害・嚥下障害/重介助など									
	くも膜下出血			ICUでのリハビリ実施(離床準備期～離床期) ICUでのクランプ等のラインの管理・確認・他職種連携									
医療安全	緊急対応	気づく 安全確保 呼ぶ・共有 対応 対応 対応 安全確保 報告 安全確保 他 記録 対応	患者さんの変化に気づき人を呼ぶことが出来る(担当) 患者さんの変化に気づき、安全を確保することが出来る(担当) 状態の変化を他者へ適切に伝えることが出来る(担当) 意識レベルやバイタル等の経時的変化を適切におうことが出来る(サブ) 記録が出来る(記録) リーダー役ができる(指示) 状況に応じた声がけや柔軟な対応をすることができる 周囲の患者さんの安全を配慮することが出来る 病棟への報告が出来る 安全な搬送が出来る ストレッチャー操作・シーツ等の準備、片付けが出来る カルテへ記録することが出来る 12誘導心電図の準備・操作対応が出来る				嚥下障害	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 経口摂取の判断が適切にできる ステップアップ・中止の判断が適切にできる					
		顔面神経麻痺	指導/リハ実施										
		インシデント	インシデント報告が出来る インシデント記録が出来る 適切な問題点・解決策が出せる インシデント報告の意味を理解し、前向きに取り組むことが出来る				廃用症候群	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる					
			実技	BLS受講 緊急対応シミュレーション					呼吸器疾患	低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施		
				感染管理	標準予防策が実行できる 担当患者や周囲の患者、自身・家族の感染症発生時に報告することが出来る 使用物品の衛生を保つことが出来る 汚染時の消毒方法が理解出来、実行することが出来る					心リハ (循環器)	心不全	低リスク群のリハ実施 初発例等 中～ハイリスク群のリハ実施 再発例/重複障害等 上手にステップアップできる	
			AMI		低リスク群のリハ実施 合併症なし/心筋ダメージ小等 中～ハイリスク群のリハ実施 合併症多/心筋ダメージ大/重複等								
		CPX		CPXが理解出来る 12誘導心電図が装着できる 一連の準備・患者指導が出来る									
			解離(保存)	解離のリハ実施									
		記録	カルテ	日々の記録が書ける 個別性 メッセージ性 効率性				がんリハ	心外術後のリハ実施				
				サマリー	進心性疾患のリハ実施(神経難病など) ステップアップ・ステイ(維持)・ステップダウンの判断が出来る								
紹介状	自主練習指導が実施できる 再発予防が指導できる 必要な指導書が作成できる												
	経験/担当した疾患:												

10月/11月/12月												
テーマ： 「力を借りながら問題解決」 ～助言期～						具体目標/行動目標： 助言/key words：						
・患者の全体像を把握し、助言を受けながら各療法を実践することが出来る。 ・優先順位を考え各療法を遂行できる。												
大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価	大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価	
コミュニケーション		患者さんとコミュニケーションがとれる 他職種(医師・看護師等)とコミュニケーションがとれる 必要な情報を医師等から確認することが出来る 状態変化や転倒、申し送り等の必要な情報を病棟へ提供することが出来る				治療全般	情報収集	必要な情報をカルテから収集することが出来る(体調/指示/検査予定等) 必要な情報をカルテから収集することが出来る(検査結果等) カルテから発症の様子/経過/生活像などを収集しイメージすることが出来る 不足している情報を関係者から迅速に収集することが出来る				
動作介助	判断	動作能力の判断が出来る 転倒等の危険に関する判断・予測・準備が出来る					問診	必要な情報を患者さんから収集することが出来る				
	実技	軽介助の動作介助が出来る 中介助の動作介助が出来る 重介助の動作介助が出来る 簡単なライン管理を行いながら動作介助が出来る 複雑なライン管理を行いながら動作介助が出来る					評価	適切な評価が出来る(CL・Br/s・ROM・BIなど) 問題分析ができる				
		目標設定	明確な目標設定が出来、患者さんと共有することが出来る					実施	質の高い治療を提供することが出来る			
		相談	治療や困っている内容を自ら他者へ相談することが出来る					資質	常に寄り添い、思いやりと熱意があり行動できる			
		知識・実技	離床基準が理解出来る バイタル測定が出来る SPO2が理解出来る ベッドサイドモニターを操作できる 安静度を確認することが出来る バイタル測定・心電図装着・確認等の必要なタイミングが分かる バイタル測定・心電図確認等が必要なタイミングで評価することが出来る					大腿骨転子部骨折	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしているなど 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/心疾患など			
			確認・判断・実行	離床基準・安静度を照らし合わせながら離床することが出来る 指示間違いの可能性がある場合、それに気づき相談・確認することが出来る 問診から体調の変化に気づき、適切な確認・判断することが出来る リハビリや運動の継続・中止が判断できる リハビリや運動の継続・中止が判断でき、報告することが出来る ステップアップ・ステイ(維持)・ステップダウンの判断が出来る					その他骨折	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 中～ハイリスク骨折のリハ実施 多発骨折+免荷など		
心電図	簡単な心電図が理解出来る 難しい心電図が理解出来る 心電図の装着ができる モニター操作ができる 適切なモニター管理が出来る(配置場所・確認頻度等) モニター上で心電図を読むことが出来る 心電図変化に気づくことが出来る 心電図変化に気づき報告することが出来る 心電図変化に気づくことが出来、適切な対応をすることが出来る							松葉杖指導 部分荷重/免荷指導	安全な松葉杖指導が出来る 適切な松葉杖指導が出来る 動作指導の共通点を基に指導ができる(例:Pick up と松葉杖など)			
	脊柱疾患			離床基準・安静度を照らし合わせながら離床することが出来る 指示間違いの可能性がある場合、それに気づき相談・確認することが出来る 問診から体調の変化に気づき、適切な確認・判断することが出来る リハビリや運動の継続・中止が判断できる リハビリや運動の継続・中止が判断でき、報告することが出来る ステップアップ・ステイ(維持)・ステップダウンの判断が出来る				大腿骨頸部骨折	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 各脱臼肢位が理解出来る 脱臼肢位の指導が出来る 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/円背など			
				人工関節置換術 (THA)	THAのリハ実施 期限内に上手にステップアップできる(3週)				人工関節置換術 (TKA)	TKAのリハ実施 期限内に上手にステップアップできる(3週)		
		手の外/切断			安全にステップアップできる				脳卒中 硬膜下血腫等	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしている/軽度麻痺など 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 軽度麻痺/軽介助など 中等度リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 中等度麻痺/中介助など ハイリスク群のリハ室実施 重度麻痺・意識障害・嚥下障害/重介助など		
		くも膜下出血	ICUでのリハビリ実施(離床準備期～離床期) ICUでのクランプ等のラインの管理・確認・他職種連携				嚥下障害	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 経口摂取の判断が適切にできる ステップアップ・中止の判断が適切にできる				
			顔面神経麻痺	指導/リハ実施					廃用症候群	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる		
	呼吸器疾患	低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器		低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施				心リハ (循環器)		低リスク群のリハ実施 初発例等 中～ハイリスク群のリハ実施 再発例/重複障害等 上手にステップアップできる		
		心不全	低リスク群のリハ実施 合併症なし/心筋ダメージ小等 中～ハイリスク群のリハ実施 合併症多/心筋ダメージ大/重複等				CPX		CPXが理解出来る 12誘導心電図が装着できる 一連の準備・患者指導が出来る			
	解離(保存)		解離のリハ実施						心リハ(心外)	心外術後のリハ実施		
		がんリハ	安定した患者さんのリハ実施(リハ室またはベッドサイド) 維持目的など 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 廃用/回復目的など がんリハ研修の受講 中～ハイリスク群のリハ実施 副作用/症状変化/感染リスクなど				進行性疾患			進行性疾患のリハ実施(神経難病など) ステップアップ・ステイ(維持)・ステップダウンの判断が出来る		
患者教育	自主練習指導が実施できる 再発予防が指導できる 必要な指導書が作成できる											
	経験/担当した疾患：											

1月/2月/3月														
テーマ:「主体性」 ～低リスク群の対応ができる～						具体目標/行動目標: 助言/key words:								
大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価	大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価			
コミュニケーション		患者さんとコミュニケーションがとれる 他職種(医師・看護師等)とコミュニケーションがとれる 必要な情報を医師等から確認することが出来る 状態変化や転倒、申し送り等の必要な情報を病棟へ提供することが出来る				治療全般	情報収集	必要な情報をカルテから収集することが出来る(体調/指示/検査予定等) 必要な情報をカルテから収集することが出来る(検査結果等) カルテから発症の様子/経過/生活像などを収集しイメージすることが出来る 不足している情報を関係者から迅速に収集することが出来る						
動作介助	判断	動作能力の判断が出来る 転倒等の危険に関する判断・予測・準備が出来る					問診	必要な情報を患者さんから収集することが出来る						
	実技	軽介助の動作介助が出来る 中介助の動作介助が出来る 重介助の動作介助が出来る 簡単なライン管理を行いながら動作介助が出来る 複雑なライン管理を行いながら動作介助が出来る					評価	適切な評価が出来る(CL・Br/s・ROM・BIなど) 問題分析ができる						
		目標設定	明確な目標設定が出来、患者さんと共有することが出来る					実施	質の高い治療を提供することが出来る					
		相談	治療や困っている内容を自ら他者へ相談することが出来る					相談	治療や困っている内容を自ら他者へ相談することが出来る					
		資質	常に寄り添い、思いやりと熱意があり行動できる											
		リスク管理	知識・実技	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしているなど 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/心疾患など					整形外科疾患	大腿骨転子部骨折	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしているなど 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/心疾患など			
その他骨折	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 中～ハイリスク骨折のリハ実施 多発骨折+免荷など													
確認・判断・実行	安全な松葉杖指導が出来る 適切な松葉杖指導が出来る 動作指導の共通点を基に指導ができる(例:Pick up と松葉杖など)						松葉杖指導 部分荷重/免荷指導	安全な松葉杖指導が出来る 適切な松葉杖指導が出来る 動作指導の共通点を基に指導ができる(例:Pick up と松葉杖など)						
	脊柱疾患			低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施										
	心電図		各脱臼肢位が理解出来る 脱臼肢位の指導が出来る 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/円背など				大腿骨頸部骨折	各脱臼肢位が理解出来る 脱臼肢位の指導が出来る 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/円背など						
			人工関節置換術 (THA)	THAのリハ実施 期限内に上手にステップアップできる(3週)										
人工関節置換術 (TKA)			TKAのリハ実施 期限内に上手にステップアップできる(3週)											
手の外/切断			安全にステップアップできる											
脳血管疾患			脳卒中 硬膜下血腫等	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしている/軽度麻痺など 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 軽度麻痺/軽介助など 中等度リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 中等度麻痺/中介助など ハイリスク群のリハ室実施 重度麻痺・意識障害・嚥下障害/重介助など										
	くも膜下出血		ICUでのリハビリ実施(離床準備期～離床期) ICUでのクランプ等のラインの管理・確認・他職種連携											
医療安全	緊急対応		低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 経口摂取の判断が適切にできる ステップアップ・中止の判断が適切にできる				嚥下障害	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 経口摂取の判断が適切にできる ステップアップ・中止の判断が適切にできる						
			顔面神経麻痺	指導/リハ実施										
			廃用症候群	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる				呼吸器疾患		低リスク群	低リスク群のリハ実施			
				中～ハイリスク群	中～ハイリスク群のリハ実施									
				人工呼吸器	人工呼吸器装着下でのリハビリ実施									
				心不全	低リスク群のリハ実施 初発例等 中～ハイリスク群のリハ実施 再発例/重複障害等 上手にステップアップできる					心リハ (循環器)	心不全	低リスク群のリハ実施 初発例等 中～ハイリスク群のリハ実施 再発例/重複障害等 上手にステップアップできる		
			AMI		低リスク群のリハ実施 合併症なし/心筋ダメージ小等 中～ハイリスク群のリハ実施 合併症多/心筋ダメージ大/重複等									
			CPX		CPXが理解出来る 12誘導心電図が装着できる 一連の準備・患者指導が出来る				解離(保存)		解離のリハ実施			
					心リハ(心外)	心外術後のリハ実施								
		記録	カルテ	安定した患者さんのリハ実施(リハ室またはベッドサイド) 維持目的など 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 廃用/回復目的など がんリハ研修の受講				がんリハ	安定した患者さんのリハ実施(リハ室またはベッドサイド) 維持目的など 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 廃用/回復目的など がんリハ研修の受講					
				中～ハイリスク群のリハ実施 副作用/症状変化/感染リスクなど					進行性疾患	中～ハイリスク群のリハ実施 副作用/症状変化/感染リスクなど				
				進行性疾患	進行性疾患のリハ実施(神経難病など) ステップアップ・ステイ(維持)・ステップダウンの判断が出来る									
サマリー	自主練習指導が実施できる 再発予防が指導できる 必要な指導書が作成できる					患者教育	自主練習指導が実施できる 再発予防が指導できる 必要な指導書が作成できる							
	紹介状													
経験/担当した疾患:														